百万石へのごいけんごきぼう

皆さん それぞれ おいそがしいのに 多数のご投稿を寄せて下さってありがとう。それだけ 皆さんが 当百万石に深い関心を持っていて下さるのだと 編集部 も喜んでおります。 多くのご意見の中から 次のふたりのを紹介致します。

いつも「百万石」「三重版」が送られてくるたび「忙しい人にこそ忙しい仕事をたのめ」とか「有能な人ほど忙しい」とかいったことばを驚きと失望の思いで思い出します。

忙しい東さんだからこそ この工夫とギーがつきることなく わいてくるのだなと思っています。

(以上は オセジにあらず。ただし、そういう人と思うからこそ ぜいたくで 勝手な注文を出したくなるのも 本当です。悪しからず)

◎理事会をひらいても、そんなに眼のさめるような提言がないのではないかと思うし、もともと東さんは(「黒沢天皇」に似ているのかな?)よくもわるくも ワンマンでしかやっていけないみたいなタイプにみえます。規約とか総会とか理事会とか、あまりお好きでなかったのと ちがいますか。

◎いままでの記事でいちばん感銘のあったのは最近号の中西篤行さんの文でした。

(注、44号、文評フォーギャラリー解説文"要よがんばれ")

◎古参で有能な先ぱい会員たちの「私の視点」を連載してくれたら、どんなにありがたいことでしょう。

◎感銘をうける記事があまり今までなかったということは、本気で、誰かに、何かを伝えたいと いうところが弱いためと思います。記事に対する 要求水準を高くして、不満足な場合は、かきなおしをさせてもらうくらいの「ワンマン」編集長になって下さい。

(傍線は編集部)

5月27日

上野市 西大手町 三六番一二

北村 修

また (たくさんなものを書いてしまったような気がします。スミオさんやアッチャンが、ええ、ええ、と言うものだから、本人もついその気になって調子にのって書いてしまったという感じです。

(注、面白い撮影紀行文を同封されてしまった)

きょうりょうさんに見せたけど、ちょうど昼めしの時間で、天然わさびを一住けんめいおろしていて あまり反応を示さず、それで出すのを止めようかと思いましたが、一応 おくることにしました。

機関紙は みんなでつくるものです。 みんながもっと もっと、意見とか 考えとか 小説でもいい、東さんとこへおくるべきだと思います。 一度も投稿を書いたことのない人もいると思うのです。 そういう人たちの考え方 なんかもきいてみたい。

意見がなければ理事会にかけると書いてありましたが、理事会にかけても「今のままでいいですに」という人の顔が目に浮かびます。 そういう人が一番 無責任だと思います。 だと言って、私には どうすべきかということは わからない。今、私が望むのは、あまり百万石に名まえの出てこない人の 考え方が ききたいのです。 まんがなんかも おもしろいと思います。

アッチャンの文評の解説を よんで感激しました。 ふだんのアッチャンも ホントのアッチャンだけど、あれを書いた アッチャンは もっと もっと ホントのアッチャンだと思います。 ほんとに感激しました。

アッチャンの 安子さんへの思いが すごく伝わってきます。 何度も何度もよみました。 私も、安子さんがんばれと 言いたい気持です。

百万石編集長殿

かぞちゃん

潮風の季節

英伸三人教育写真集

気まぐれ、老衰、無気力 ―― 今日の中学生を語るマスコミの常套語だ。だが、この写真集のどのページでも開いて見よ。さわやかな生気にみちた中学生の顔に…

「実際の撮影では、泳ぐ生徒たちの表情をなるべく実感をこめてとらえたいと思い私もいっしょに泳ぎながら水中カメラニコノスを使って撮った」と英氏は……

〃和光中学の教育記録〃という副題で文は 和光幼小・中・高校長 丸木政臣氏

¥4,500!

申込みは 書籍係 清水さんまで

「百万石」、ファックス輸転機にのる

会員拡大の功績で「百万石の星」と呼ばれる栄子さん「近頃、碩石になってしもたワ」と意気消沈中と思っていたら なんのなんの、手話の勉強が本格化、次期選挙には演説の同時通訳までやると虎視タンタン

しかしこころんでも ただでは起きてこない彼女のこと、手話勉強中に話をつけてきて、ともかくこの百万石を試げん的に ろうあ福祉協会所有の 新品ファックスりんてんきで 印刷してくれることになった。

小林さん高橋さんの〃顔〃にもてつだってもらって、うまくいけば 今後いつも この印刷でやってもらえる。

眠りそしない 眠らせそしない

アッチャンの家。夜の10時すぎ。安子さんが帰ってきた。

「お邪ゲしています」といったら 彼女 にっこりと笑って、

「アラ いらっしゃい」

次の日の昼すぎ こんどは アッチャンが僕の家にやってきていた。

「ゆうべはゴメン、おそくまで。安子さん疲れていたのに」

「いえいえ。昨日はニッキンでしたから 夕方に動くはずんでいたのですよ、そのあと組合であそんでいたのでしょう」

「うわア、それはたいへん、動くの後5時間も?」

「いや、まだ続くんです。ゆうべあれからまた出動していったのです。朝の8時半までの動くです」

「うわア、それはたいへん、…」

「僕がここへ お邪ゲする時 ちょうど帰ってきました」

「?」

「朝、仕事が すんで そのあと昼まで 組合でした」

「??? うわア……」

いったい彼女は何時間 起きっ放しだったのでしょう。

(推定31時間くらいです)

新美くんの便り

視点展を見た、先日久しぶりに山をおりました。くわしくは中西君からおききのことと思います。梅雨に入り酒屋の一番忙しいいやな季節ですね。相変らず今年も梅をつけていることと思います。お体の方はいかがですか。

視点展では去年とはチョット違ったレイアウトも印象的でしたが、三重支部の活躍ぶりにおどろきました。「要よがんばれ」は ひときわ会場に明るく、新鮮な風をなびかせていたし、「伊勢河崎町」を見た時は 思わず伊勢へ帰りたくなりました。やっぱり清水さんの写真には土着の味があるように思います。

以下 残念ながら略

JRP みそばん
百万石
45
1980-6